高齢者等世帯に対するごみ出し支援（ふれあい収集）の取り組みを

小室初江

町長　地域特性や福祉サービスとの連携、財政負担等の課題を踏まえ、最適な支援を検討する

問　本町での高齢者世帯等に対するごみ出し支援制度実施の見通しは。

答　ごみ出し支援は重要な本町の課題。実施の可否を含め、早急に研究を進める。

誰一人取り残さない不登校対策について

問　不登校児童生徒への個に応じた支援の状況は。

答　家庭訪問、個別相談を通じて心理的負担の軽減を図っている。また、個別に学習計画を作成したり、オンライン学習、小川町の適応指導教室等での学習の機会を提供している。

問　今後力を入れていく不登校支援は。

答　関係機関との連携のもと、多様な教育機会の確保など、個に寄り添ったきめ細やかな支援を続けていく。

問　ごみ出し困難世帯における「個別収集（ふれあい収集）」実現の見通しは。

答　対象世帯、収集頻度、収集ルート、費用等を整理する必要がある。本町特有の実情を踏まえ研究する。

問　具体的にはいつから研究するのか。

答　本町の地域特性や福祉サービスとの連携、財政負担等の課題を踏まえ、本町に最適なごみ出し支援を検討する。





不用となった町有財産（物品）のリユースによる財源確保と廃棄物減量について

神山俊

町長　リユースのシステム構築等について先進例を参考にしながら導入に向けて検討していく



問　不用物品の廃棄処分に関する規定やルールは。

答　ときがわ町物品会計規則で事務処理を行うが、具体的な処分方法等の規定等はない。

問　不用物品はどのように廃棄処分を行っているのか。

答　各課の判断において、その廃棄理由を明らかにし、決裁を受けて廃棄処分をしている。

町民の生命と暮らしを守る、突発的な停電や断水への備えについて

問　停電・断水の発生状況把握と情報伝達について、町ではその発生をどのように把握し、どのような手順で町民への情報提供につなげているのか。また、町民への情報伝達の流れは。

答　停電については電力事業者からの情報提供や町民からの通報、町職員による現地確認などにより発生状況の把握に努めている。断水については監視システムのアラートや水位計データ、又は町民の方からの通報で発生状況を把握している。町民生活への影響が大きい場合には、必要に応じて防災行政無線、町ホームページ、町メール及びライン、広報活動等、状況に応じた複数の手段を活用し情報提供を行っている。

中学生の声が町政に反映

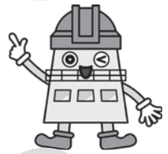
令和７年10月30日に行われた中学生議会において、中学生議員からの提案を受け、以下の事業が実現しました。



歩道の環境整備を　玉川中学校第１グループ

通学路沿いに雑草や木が生い茂っているため、見通しが悪くなっている。雑草を避けながら自転車で走るのは危険なので、安心して通学できるように除草や木の伐採をして欲しい。

通学路を優先して、通行の妨げとなる町道（歩道以外も含む）の草刈りや樹木等の伐採を行いました。
また、県道についても、管理者である埼玉県に９件の伐採を要望しました。





教育環境の充実について　玉川中学校第６グループ

熱中症対策のため、給水スポットを増やしたり、プールサイドにテントや遮光ネットを設置して欲しい。
また、体育館のトイレの臭いも改善して欲しい。

熱中症対策として、①小中学校５校に冷水機９台（４校に２台、１校に１台）設置、②小中学校４校にプール用簡易テント（各校２張）を購入しました。
さらに、玉川中学校において、屋内運動場のトイレの臭い対策を実施し、プールには目隠し用シートを設置しました。



小中学校に設置した冷水機

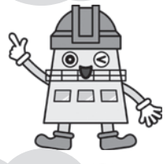




部活動の環境整備について　都幾川中学校第５グループ

テニスコートは水はけが非常に悪いので、人工芝にするなど改善して欲しい。
また、ほかの部活動も活動しやすい環境を整えて欲しい。

都幾川中学校の部活動環境改善として、①テニスコート用ブラシ８本購入、②野球用ホームベースを修繕しました。





給食内容の充実を　都幾川中学校第６グループ

「セレクト給食」や「日本全国味めぐり」などのイベント給食が行われているが、さらに給食が楽しみになるように、デザートを週１回くらいに増やして欲しい。
また、うどんの献立の回数を、２週間に一度に減らして欲しい。

果物を含む給食のデザートの献立を概ね週１回に増やし、うどんの献立を月１回分減らしました。

